

# 関常幸 議会報告

第43号  
2017. 10

発行責任者  
南魚沼市議会議員 関 常幸  
南魚沼市浦佐 2015 番地  
TEL 025-777-2245



## みんなが笑顔で

## 「安心」のまちを

8月29日、9月15日に北朝鮮が発射したミサイルが北海道上空を通過し太平洋に落下する。わが国を飛び越えると言う暴挙は、これまでにない深刻かつ脅威であり、日本の平和と安全を損なうものであり、断じて許されるものでない。

そういう緊張の中、9月2日陸上自衛隊高田駐屯地の隊員60名が浦佐から六日町まで約26キロを徒步行進訓練を行う。スタートの浦佐体育館や沿道に多くの市民が激励にかけつける。私たちが平和に安心して暮らしていけるのも、自衛隊の存在のおかげです。

そういうことから、自衛隊を明記した日本国憲法の改正は必要だ。

「安心」は、柏崎刈羽原発抜きにして考えられない。原発の再稼働には新潟県が示す3つの検証が不可欠。

3つの検証とは、①福島原発事故の原因、②同事故の健康・生活への影響、③柏崎刈羽原発で事故が起こった場合の避難計画。そして、将来は原発依存度を可能な限り低減し、徹底した省エネと再生可能エネルギー及び自然エネルギーに移行する。

降ってわいた今回の衆議院選挙、民進党が解体し「希望の党」と「立憲民主党」が出現し、自民党がひきつづき政権を担うことができるかどうかの選挙だ。

長島代議士の死去は、新潟県にとり大きな損失だ。災害が発生すれば2日目には来てくれる。イベントや祭りがあると一緒に楽しみ、東京を1日に2往復することも普通であった。常に市民寄りの現場主義の先生であった。

今でも悔やんでも悔みきれない……。長島代議士の志を継いでくれる人を応援し、北朝鮮をはじめ中国、ロシア等、外交に強い日本であるためには、自民党か希望の党か立憲民主党か共産党か、良く考えて投票しなければならない。

合併後4回目の市議会選挙が行なわれる。今、南魚沼市は「若者が帰ってこれる住み続けられる南魚沼市に」を掲げ市長になった林市政がスタートし1年。多くの行政課題がありますが、市長を応援した1人として、市長公約実現のために政策提言をいたします。



前回の市議会選挙

## 9月議会（9月4日～26日）

議会最終日、9月議会を最後に勇退する議員のみなさんから挨拶がありました。田中角栄元首相の話や、南魚沼市合併時のエピソードや苦労話に胸を熱くしました。

今日の南魚沼市があるのも、先人の皆さまや先輩諸氏の議員活動があったればこそと思いました。勇退される皆さま本当にご苦労様でした。これからも、市の発展のためにご指導いただきたいと思ひます。



- ★ 平成6年に、地盤沈下区域の井戸掘削禁止を解禁する条例案が、賛成18・反対7で原案可決（私は賛成）。討論では、現在も地盤沈下は収まっていなく、井戸を掘ることでの地盤沈下の影響や節水後の地盤沈下の検証が不十分で反対の意見あり。老朽化した井戸の修理が出来なくては冬の生活が難しい。中心市街地の空洞化がすすんでおり原案賛成。反対者と賛成者の激しい討論が繰り返される。23年ぶりの全面改訂であり、川上の塩沢、川下の大和も降雪感知器等での「節水」が義務化され、市内全域で総揚水量の抑制をする。

条例は可決したが、これからも最大の注意を払い地盤沈下の軽減に対処しなくてはならない。

- ★ 28年度決算は、歳出が341億円で10億円の黒字。借金は420億円。特別会計、企業会計の合計の歳出は600億円で、888億円の借金がある。

市の財政状況は、財政力指数等の6つの指標や実質赤字比率等の健全化判断比率からも当市の財政は健全です。888億円の借金も下水道整備もほぼ終わり、毎年確実に減少していく。

- ★ 一般質問は任期最後ということもあり、26名中24名が行う。

＜勇退される議員の質問＞

- ①若井議員～林市長の目指す南魚沼市とは
- ②中沢議員～林市政での「断・捨・離」は軸足をどこに
- ③阿部議員～厳しい財政に対する認識と公約実現の予算査定に臨めるか
- ④腰越議員～若者が帰って来れる、住み続けられる南魚沼、その人づくりと地域活性化は
- ⑤樋口議員～流雪溝事業の進捗状況と今後の見通し他2項目

全員が含蓄で重みのある質問で、我々も拍手を送りたくなる内容であった。市長も丁寧に感謝の言葉を添えながら答弁した。





## 市長所信表明



- ・7.18 豪雨災害では、同日に災害対策本部を立ち上げる。
- ・塩沢、中統合保育園の名称を「牧之保育園」とした。
- ・全天候型広場を、12月にイオン六日町店内にオープンする。
- ・両病院とも入院・外来とも伸びている。ゆきぐに大和病院では、増加する高齢者の入院に対応すべく5床増やす。
- ・五日町・大巻小、上田地区小の2地区の統合の話しが進む。
- ・全国重要無形文化財保持団体協議会長に林市長が就く。
- ・スケートパークは今秋の完成に向けて工事が急ピッチ。
- ・公募していたモンスターパイプのネーミングライツに、ガンホ・オンライン・エンターテイメント株式会社に決定し愛称は「ガンホー・モンスターパイプ」となった。
- ・住宅リフォーム事業は505件、4,011万円の補助で、総事業費は5億8千万で経済波及効果は14.5倍と評価している。
- ・水道事業については料金値下げに向けて協議中。

## 一般質問(9月15日)

「若者が帰ってこれる住み続けられる南魚沼」のために、多くの行政課題をスピード感を以て、進めようとしておりその姿勢は評価できるが、南魚沼市の未来の姿が見えなくては、市民は不安だ。林市長が描く**「南魚沼市の未来とその戦略」**について伺う。

**市長答弁** スポーツ振興を市のエンジンにする。世界に飛躍する国際大学卒業生とのネットワークを活かしまちづくりを。ご当地ナンバーを「将来の魚沼圏域のまちづくり」に。雪を活用したまちづくりを。

## 活動日誌



7.24 黒沢災害現場視察  
(7.18 豪雨)



8.22 中越地区議員研修会



8.23 松原県議 公共要望会



9.3 浦佐温泉山岳マラソン大会



9.10 浦佐地区敬老会



9.16 地域医療研究会  
全国大会 in 魚沼



9.26 中国創立68周年祝会



9.30 親子稲刈り教室

## ★長島代議士安らかにお眠りください

8月19日未明（確か1時過ぎ）携帯が鳴る。山古志の前議長関市会議員から「代議士が亡くなった……」と、突然の電話にただただ啞然とする。

関さんからは、15日早朝に電話をいただき、代議士が15日未明に救急車で搬送されたと聞いており、その時関さんは、他人には言えないが、手術ができない場所なんだと話され容体は予断を許さないのではないかと……。17日の新潟日報には「脳卒中で2カ月の入院加療」と報道される。本当にそうであってほしいと思った……。

西山秘書は、先生に声をかけたら応対をした。倒れて1日目より、2日目と声をかけると対応はいい。あの頑丈の体だし、山古志で鍛えた体と精神だ。絶対に復帰しますよとの電話の声に勇気つけられたが……。

今日（8月19日）は自民党の大和支部の役員会を計画していたこともあり、西山秘書から詳しく聞いて役員に報告と思い、小沢議員と黒滝議長と3人で山古志に行く。林市長からも電話があり、井口前市長と5人で何う。

新装なった長島代議士の事務所により、そして11時頃山古志に向かう。東京の小島秘書が、「関先生が最後の陳情でしたよ（押合大祭の件で）」の言葉に涙が出る。安倍首相、二階幹事長の花が届く。まさに眠っているようで、声をかければ返事をするようだった。

今年の7.18豪雨の時も、いち早く現場に駆けつけ今後の対応を、県・市の職員と協議していた。代議士の指示で黒沢に、今年に引き続き堰堤の計画が浮上する。まさに長島代議士形見の堰堤だ……。



余りにも突然で、いまだ信じられません。天国から新潟県いや日本の発展と幸せを見守っていて下さい。

8月19日山古志の自宅にて。奥様とご長男を前に、林市長・井口前市長、突然の訃報で悔しがばかりです。ただ残念ですの声が強く聞こえた。

### 編集後記

・孫が5月に一人、7月に二人授かりました。7月は、赤ちゃん誕生に村上、東京に。そして、埼玉にお宮参りとおめでた続きでお母さん大忙し。

・親子「稲刈り教室」に今年も親戚の宇都宮から子供が三人参加する。当日は、魚沼基幹病院の皆さん20人と一緒にいい汗をかきました。

・いよいよ市議会選挙が始まります。突然の衆議院の解散で投票日は同日で10月22日です。政治は生活そのものです。棄権しないで投票しましょう。

・朝晩寒くなりました。風邪等ひかぬよう健康に留意しましょう。